

Upside10

アップサイド10

【引受保険会社】



アクサ生命保険株式会社

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建)
II型

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

2017年度 (2017年4月～2018年3月) 特別勘定の現況

決算のお知らせ

ご契約者の皆様へ

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。
さて、弊社は去る3月31日に決算を迎えましたので、ここに特別勘定の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも何卒ご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

- ・アクサ生命保険株式会社の「株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建)」の株価指数連動追加年金のお支払のための資産は、特別勘定で運用を行います。
 - ・当資料は、アクサ生命保険株式会社の「株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建)」の特別勘定の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。また、本保険契約の「型」または「特別勘定」単位の情報を掲載しております。
 - ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
 - ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
 - ・商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要／注意喚起情報)(*)」、「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- * 金融商品取引法の2007年9月30日完全施行により配布を開始しております。

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) II型 特別勘定の現況 (2017年4月～2018年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- 当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2017年4月～2018年3月]

【日本株式市場】

日本株式市場は上昇しました。年度末の東証株価指数(TOPIX)は前年度末比+13.47%の1,716.30ポイント(前年度末1,512.60ポイント)となりました。年度の前半は、一時1,500ポイントを下回った後、シリアや北朝鮮の地政学リスクへの懸念後退や、欧米株式市場が上昇したことなどを背景に上昇しました。年度の後半は、安定した国内の政権運営や米国の税制改革法案に対する期待感などを要因に上昇し、1月には一時1,900ポイントを上回りました。その後、米金利の上昇などを背景とした米国株式市場の下落や、円高米ドル安などを要因に日本株式市場は下落基調で推移しましたが、年度を通じては上昇となりました。

【外国株式市場】

米国株式市場は上昇しました。年度末のNYダウ工業株30種は前年度末比+16.65%の24,103.11ドル(前年度末20,663.22ドル)となりました。年度の前半は、上記の地政学リスクへの懸念後退、堅調な経済指標などを背景に上昇しました。年度の後半は、税制改革法案に対する期待感などを要因に上昇基調で推移し、1月下旬には26,616.71ドルを付けました。その後、米金利の上昇が嫌気されたことや、米国の対中貿易制裁に伴う米中貿易戦争への警戒感などから下落基調となりましたが、年度を通じては上昇となりました。欧州株式市場は市場によってまちまちの展開となりました。市場別の年間の騰落率は、独DAX指数-1.76%、英FTSE100指数-3.64%、仏CAC40指数+0.87%となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、10年国債の金利が低下(価格は上昇)し、年度末には0.045%(前年度末0.065%)となりました。年度の前半は、上記の地政学リスクへの懸念後退などを受けて0.105%まで金利は上昇(価格は下落)しました。その後、株安、米金利の低下が進んだことなどから、一時-0.015%まで低下する場面がありましたが、米金利の上昇に連れ、金利は上昇しました。年度の後半は、10年国債の需給の引き締まりが意識されたことなどから金利は低下しましたが、その後、欧米債券の金利上昇や、12月初めの入札が不調となったことなどを背景に、金利は上昇しました。2月に日銀の国債買い入れオペレーションにおいて国債の買い入れ額が増額されたことを受けると、金利は低下基調で推移しました。

【外国債券市場】

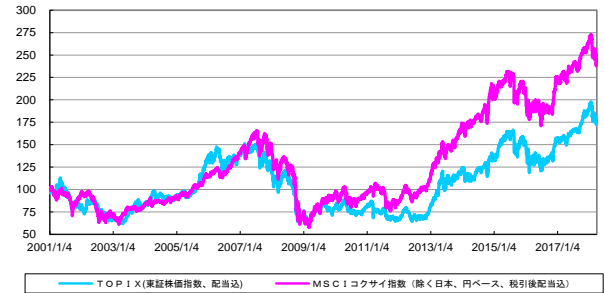
米国債券市場は、10年国債の金利が上昇(価格は下落)し、年度末には2.739%(前年度末2.387%)となりました。年度の前半は、上記の地政学リスク、欧州の政治リスクに対する見通しなどを要因に揉み合いで推移しました。年度の後半は、レンジ圏で推移した後、12月下旬に米国の税制改革法案が成立したことを受けて金利は上昇しました。平成30年に入った後も中国当局者らが米国債の購入を減額しないし停止すると警告したと報じられたことや米経済の堅調さなどを背景に金利は2.954%まで上昇しましたが、年度末にかけては、米中貿易戦争への懸念などを背景に金利は低下(価格は上昇)しました。年度を通じては金利は上昇しました。年度中に、FRB(米連邦準備制度理事会)による、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標引き上げが3回行われ、計0.750%引き上げ、年1.500～1.750%となりました。欧州債券市場は、独10年国債の金利が上昇し、年度末には0.497%(前年度末0.328%)となりました。年度の後半は、上記の地政学リスク、欧州の政治リスクに対する見通しなどを要因に揉み合いで推移しました。年度の後半には、米金利の上昇や、ECB(欧州中央銀行)の金融緩和縮小に対する前向きな姿勢などを受けて金利は上昇傾向で推移し、0.8%超となる場面もありました。年度末にかけては2月に発表された独景況感指数やユーロ圏消費者物価指数速報値の軟調な結果や、ECB関係者が景気や物価に対して慎重な見解を示したことなどを背景に、金利は低下基調で推移しました。年度を通じては金利は上昇しました。

【外国為替市場】

米ドル/円相場は、円高米ドル安となり、年度末には106.24円(前年度末112.19円)となりました。年度の後半は、上記の地政学リスク、欧州の政治リスクに対する見通しなどを要因に揉み合いで推移しました。年度の後半は、米国の税制改革法案への期待感などから円安米ドル高傾向で推移しましたが、1月に日銀が国債買い入れオペレーションを減額したことなどを背景に円高米ドル安基調に転じ、3月下旬には104.93円を付けました。ユーロ/円相場は、円安ユーロ高となり、年度末には130.52円(前年度末119.79円)となりました。年度の後半は、上記の地政学リスク、欧州の政治リスクへの懸念後退などの影響で、円安ユーロ高で推移しました。年度の後半は、ECBの金融緩和の縮小に対する前向きな姿勢などを要因に円安ユーロ高で推移しましたが、年度末にかけては、2月に米金利上昇などを要因に世界的に株安となったことなどを背景に、リスク回避のため安全資産とされる円が買われ、円高ユーロ安基調で推移しました。年度を通じては円安ユーロ高となりました。

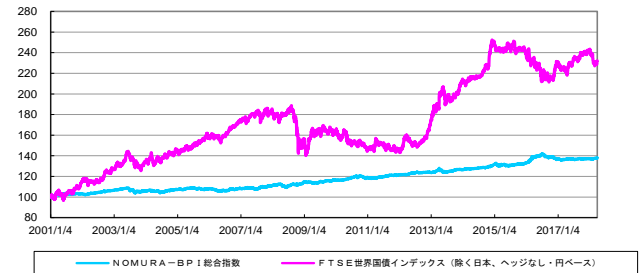
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



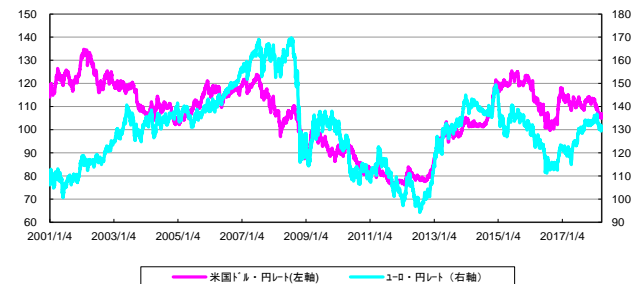
日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



※インデックスの名称が「シティ世界国債インデックス」から「FTSE世界国債インデックス」へ変更されました。

外国為替市場の推移



出所: 株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-375-193

アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) II型 特別勘定の現況 (2017年4月～2018年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。

特別勘定の運用方針について

【資産運用に係る基本的性格】

- ◆ この保険の株価指数連動追加年金のお支払いのための資産は、資産運用の成果が、株価指数連動追加年金額の増減につながるため、この保険の基本年金のお支払いのための資産(米国債券などの公社債を主な運用対象とし一般勘定で運用します。)および他の保険種類の資産とは区分して管理・運用を行なう必要があります。そのため当社は特別勘定を設け、特別勘定資産を他の資産とは独立した体制と方針に基づき運用します。
- ◆ 特別勘定は、ご契約日を同一とするご契約ごとに設定します。
- ◆ 特別勘定資産の運用は一定の収益も期待できますが、一方で対象株価指数の動向によっては、株価指数連動追加年金原資額が特別勘定に繰り入れた金額を下回る、または全くない場合があります。特別勘定資産の運用結果は、株価指数連動追加年金原資額および積立金額に直接反映されることから、資産運用の成果と投資リスクがともにご契約者に帰属することになります。

【目的と運用方針】

- ◆ 据置期間(ご契約日から10年間)満了までご契約を継続するご契約者に対して、所定の株価指数の上昇率に連動した株価指数連動追加年金原資を基本年金原資に上乘せすることを目的とし、これを運用方針とします。

米ドル・円 外国為替市場の推移

(2017年4月～2018年3月)

【米ドル・円 外国為替市場の推移】



※当該グラフで表示している為替市場は、株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信相場仲値を採用しております。

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) II型 特別勘定の現況 (2017年4月～2018年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。

株価指数の変動実績 ①

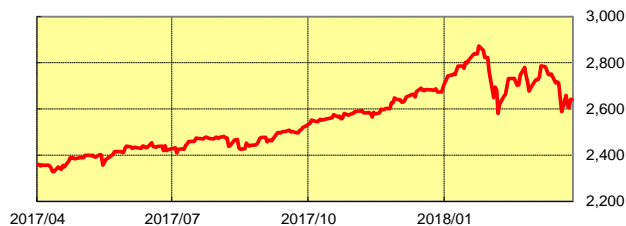
2018年3月末日現在

【運用コメント】

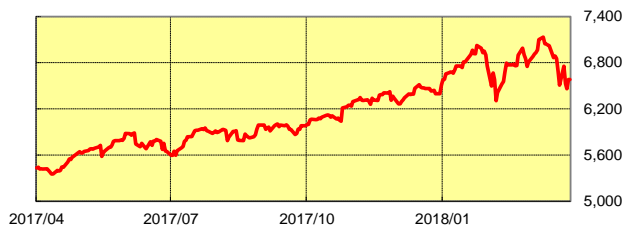
当特別勘定資産は、世界を代表する10株価指数の毎年の最高の上昇率に連動した株価指数連動追加年金原資額を確保することを目的として、当社がエクイティ・インデックス・スワップ取引を行うことにより運用しました。当社は、特別勘定に繰り入れた金額を用いてエクイティ・インデックス・スワップ取引を行い、世界の10株価指数のパフォーマンスによって変動する将来の追加年金原資額の給付を確保するための運用を行いました。

【世界の10株価指数の推移】 (2017年4月～2018年3月)

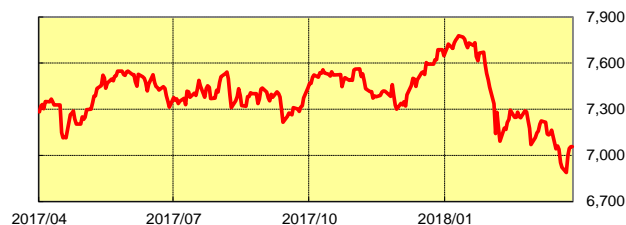
[S&P500(アメリカ)]



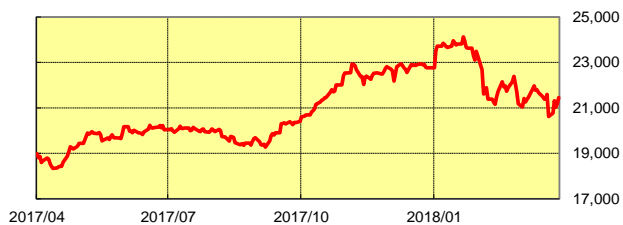
[NASDAQ100(アメリカ)]



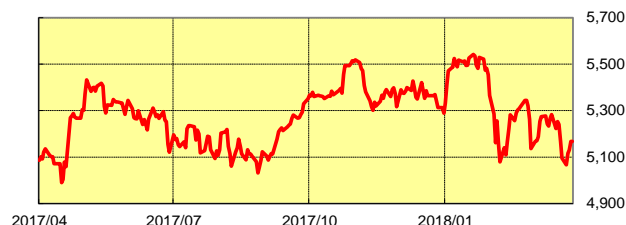
[FTSE100(イギリス)]



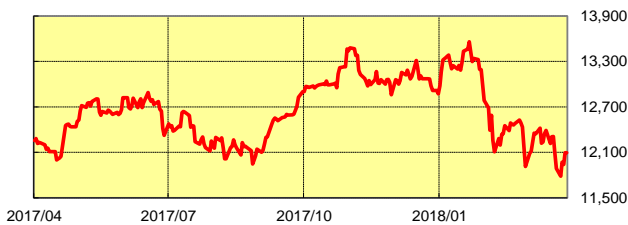
[日経平均株価(日本)]



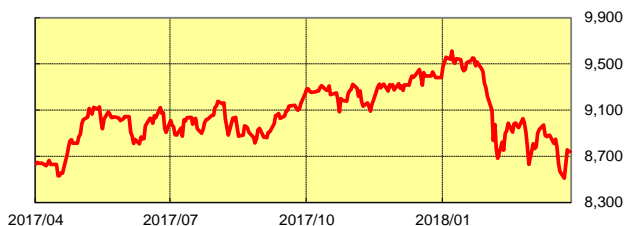
[CAC40(フランス)]



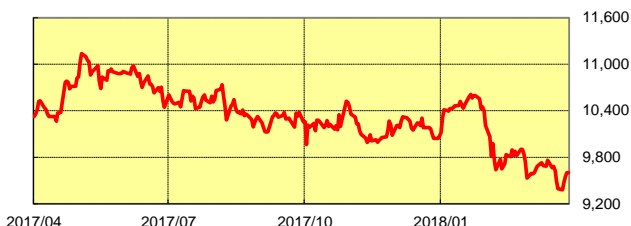
[DAX(ドイツ)]



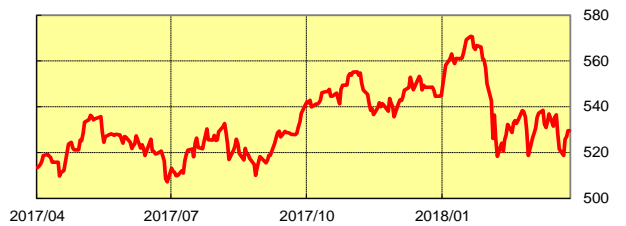
[SMI(スイス)]



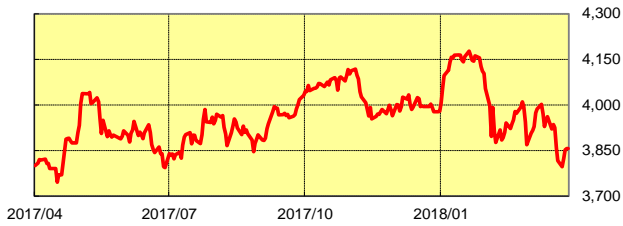
[IBEX35(スペイン)]



[AEX(オランダ)]



[BEL20(ベルギー)]



【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
お問合せ先: カスタマーサービスセンター
Tel 0120-375-193
アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) II型 特別勘定の現況 (2017年4月～2018年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。

株価指数の変動実績 ②

2018年3月末日現在

【特別勘定(契約年月日)ごとの上昇率の推移】

(2018年3月末日までに最も上昇した株価指数と確定した特別勘定ごとの上昇率を以下に記載いたしました。)

特別勘定 (契約年月日)	最も上昇した株価指数と上昇率									
	第1保険年度末		第2保険年度末		第3保険年度末		第4保険年度末		第5保険年度末	
2008年5月1日	-	0.0%	NASDAQ100	47.7%	DAX	22.2%	NASDAQ100	14.0%	日経平均株価	45.5%
2008年6月1日	-	0.0%	NASDAQ100	29.0%	NASDAQ100	26.1%	NASDAQ100	8.6%	日経平均株価	61.2%
2008年7月1日	-	0.0%	AEX	23.5%	NASDAQ100	30.0%	NASDAQ100	14.0%	日経平均株価	51.8%
2008年8月1日	-	0.0%	BEL20	16.8%	NASDAQ100	26.7%	NASDAQ100	11.8%	日経平均株価	57.1%
2008年9月1日	-	0.0%	NASDAQ100	7.8%	NASDAQ100	26.2%	NASDAQ100	23.0%	日経平均株価	51.4%
2008年10月1日	NASDAQ100	30.9%	NASDAQ100	16.9%	NASDAQ100	9.3%	DAX	27.9%	日経平均株価	62.9%

- ・記載の「上昇率」とは、据置期間満了日までの各保険年度末日における各株価指数の終値と、その直前の保険年度末日における各株価指数の終値(第1保険年度の末日における計算においては、計算開始日における各株価指数の終値)とを比較した数値です。(「計算開始日」とは、契約日の属する月の20日です。)
- ・上昇率は、株価指数連動追加年金原資額の計算に用いられます。
- ・上昇率は0.1%単位とし、端数は切り捨てます。
- ・保険年度末日における全ての株価指数の上昇率がゼロまたはマイナスであった場合は、その保険年度末日に確定する株価指数連動追加年金原資額はゼロとなります。
- ・上記の計算を、計算開始日以後、据置期間満了日までの各保険年度末日に行います。(据置期間満了日までに10回計算します。)
- ・「終値」とは、各日末(日本時間)において当社が入手できる最新の終値を指します。
- ・記載の上昇率はあくまでも2018年3月末日までに確定した上昇率であり、将来の各株価指数の推移を保証・予測するものではありません。
- ・ご契約ごとの契約応当日現在の株価指数連動追加年金原資額等については、毎年送付しております「ご契約内容のお知らせ」をご参照願います。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-375-193

アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) II型 特別勘定の現況 (2017年4月～2018年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。

株価指数の変動実績 ②

2018年3月末日現在

【特別勘定(契約年月日)ごとの上昇率の推移】

(2018年3月末日までに最も上昇した株価指数と確定した特別勘定ごとの上昇率を以下に記載いたしました。)

特別勘定 (契約年月日)	最も上昇した株価指数と上昇率							
	第6保険年度末		第7保険年度末		第8保険年度末		第9保険年度末	
2008年5月1日	NASDAQ100	24.6%	日経平均株価	36.4%	-	0.0%	NASDAQ100	28.6%
2008年6月1日	IBEX35	28.0%	日経平均株価	40.5%	-	0.0%	NASDAQ100	28.4%
2008年7月1日	IBEX35	41.1%	日経平均株価	33.4%	S&P500	0.6%	IBEX35	29.9%
2008年8月1日	IBEX35	29.3%	日経平均株価	31.7%	S&P500	3.0%	NASDAQ100	24.9%
2008年9月1日	NASDAQ100	32.8%	日経平均株価	22.4%	NASDAQ100	10.3%	NASDAQ100	24.2%
2008年10月1日	NASDAQ100	25.2%	日経平均株価	7.5%	NASDAQ100	18.4%	日経平均株価	23.7%

- ・記載の「上昇率」とは、据置期間満了日までの各保険年度末日における各株価指数の終値と、その直前の保険年度末日における各株価指数の終値(第1保険年度の末日における計算においては、計算開始日における各株価指数の終値)とを比較した数値です。(「計算開始日」とは、契約日の属する月の20日です。)
- ・上昇率は、株価指数連動追加年金原資額の計算に用いられます。
- ・上昇率は0.1%単位とし、端数は切り捨てます。
- ・保険年度末日における全ての株価指数の上昇率がゼロまたはマイナスであった場合は、その保険年度末日に確定する株価指数連動追加年金原資額はゼロとなります。
- ・上記の計算を、計算開始日以後、据置期間満了日までの各保険年度末日に行います。(据置期間満了日までに10回計算します。)
- ・「終値」とは、各日末(日本時間)において当社が入手できる最新の終値を指します。
- ・記載の上昇率はあくまでも2018年3月末日までに確定した上昇率であり、将来の各株価指数の推移を保証・予測するものではありません。
- ・ご契約ごとの契約応当日現在の株価指数連動追加年金原資額等については、毎年送付しております「ご契約内容のお知らせ」をご参照願います。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-375-193

アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) II型 特別勘定の現況 (2017年4月～2018年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。

特別勘定資産評価額

2018年3月末日現在

特別勘定(契約年月日)	特別勘定資産評価額(米ドル)
2008年5月1日	82,759.04
2008年6月1日	86,317.56
2008年7月1日	44,542.61
2008年8月1日	33,712.34
2008年9月1日	108,996.71
2008年10月1日	130,692.74
合計	487,021.00

- ・記載の特別勘定資産評価額は、特別勘定ごとの2018年3月末日時点における合計値となっています。特別勘定は、ご契約日を同一とするご契約ごとに設定します。
- ・金額の単位未満は切り捨てています。
- ・記載の特別勘定資産評価額は、株価指数の推移・変動性、金利情勢、及び解約・減額等による特別勘定の積立金額の払い戻しなど諸要因によって変動します。
- ・ご契約ごとの契約応当日現在の株価指数連動追加年金原資額等については、毎年送付しております「ご契約内容のお知らせ」をご参照願います。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-375-193

アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) II型 特別勘定の現況 (2017年4月～2018年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。

《参考情報》 本保険契約の予定利率および連動率

特別勘定(契約年月日)	適用予定利率	基本年金原資保証率	連動率B(II型)
2008年 5月1日	2.90%	100%	48.20
2008年 6月1日	3.40%	105%	50.00
2008年 7月1日	3.40%	105%	45.80
2008年 8月1日	3.85%	110%	46.90
2008年 9月1日	3.85%	110%	44.60
2008年 10月1日	3.40%	105%	41.70

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-375-193

アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) II型 リスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

この保険は一時払保険料のうち一定割合の金額を特別勘定に繰り入れ、エクイティ・インデックス・スワップ取引により、所定の10株価指数に連動した運用を行う米ドル建の個人年金保険です。

※ 所定の10株価指数(S&P500、NASDAQ100、FTSE100、日経平均株価、CAC40、DAX、SMI、IBEX35、AEX、BEL20)の動向によっては、株価指数連動追加年金原資額が特別勘定に繰り入れた金額を下回る場合、またはまったくない場合があります。

【為替リスクについて】

この保険は米ドル建ですので、外国為替相場の変動による影響を受けます。

年金や給付金などを米ドル建でお受け取りになる場合には、円に換算した年金や給付金などの額が、ご契約時における外国為替相場によって円に換算した年金や給付金などの額を下回る場合があります。同様に、お受け取り時における外国為替相場によって円に換算した年金受取総額などが、お払い込み時における外国為替相場によって円に換算した一時払保険料を下回る場合があります。

【市場価格調整について】

基本払いもどし金額は、米国債券などの運用資産の価値が反映(市場価格調整)されますので、解約(減額)時の所定の市場金利により増減し、経過期間にかかわらず一時払保険料相当額を下回る場合があります。

【諸費用について】(下記の各費用の合計額をご負担いただきます。)

＜ご契約時にかかる費用＞

項目	費用
契約初期費用	契約時に一時払保険料から初期費用として9.9%を控除します。

＜据置期間中にかかる費用＞

項目	費用
保険契約管理費	基本保険金額に対して年率0.2%を責任準備金から控除します。
株価指数連動追加年金原資の管理費	基本保険金額に対して年率0.16%を責任準備金から控除します。
為替手数料	<ul style="list-style-type: none"> 保険料円入金特約を付加して米ドル建の基本保険金額(一時払保険料)を計算する場合は、当社が保険料円換算額を受領する日のTTMLレート+90銭(円入金用レート)の為替手数料がかかります。 円支払特約の適用により年金や死亡給付金などを円でお受け取りになる場合は、年金の場合は年金支払開始日、死亡給付金額などの場合は当社が所定の必要書類を受付けた日の翌営業日のTTMLレート-40銭(円出金用レート)の為替手数料がかかります。なおこれらのレートは将来変更となることがあります。 ※ TTMLレートは、所定の金融機関が公示するその日最初のTTMLレート(対顧客電信売相場仲値)となります。
送金手数料	年金などを米ドル建でお受け取りいただく場合、当社からの送金にかかる手数料は、お客さま(受取人)に負担していただきます。ただし、「円支払特約」を適用される場合には、当社が負担します。金額については送金する金額や取扱金融機関によって異なるため表示できません。

＜年金支払開始日以後にかかる費用＞

項目	費用
年金管理費	年金額に対して1.0%を年金支払日に責任準備金から控除します。

※ 「年金払特約」によりお受け取りいただく場合は、記載の費用は上限です。年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

【その他重要な顧客不利益事項】

■ 米ドル建での基本年金原資保証

基本年金原資額の最低保証は米ドル建で行われるため、据置期間満了日の外国為替相場によっては、円に換算した基本年金原資額が一時払保険料を下回る場合があります。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
お問合せ先: カスタマーサービスセンター
Tel 0120-375-193
アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>